



ケヤキの柱と天井ルーバーに囲まれたランウェイのようなプラットフォーム

自然の素材を纏う

Wearing Natural Materials

表参道駅、外苑前駅、青山一丁目駅は、銀座線の中で豊かな緑に囲まれた稀なエリアである。明治神宮外苑、赤坂御用地、青山霊園はもちろんのこと、表参道のケヤキ並木、外苑のイチョウ並木、青山霊園の桜並木など街路樹にも恵まれている。このトレンドエリアは、世代を超えて育まれてきた緑を背景に、クリエイティブ産業が集まっている。この豊かな自然を取り込むべく、ケヤキ、イチョウ、桜の木材をはじめ、神宮外苑のグランドやフィールド、石垣を想起させる土、レンガ、石などの自然素材を多用する。プラットフォームやコンコースを華美に装うのではなく、開業当時の骨格が見え隠れするように、自然素材でできたルーバーや腰壁などで優しく纏う。銀座線のもつ歴史を今に伝えながら、訪れる人にとって心地良い駅デザインを目指した。

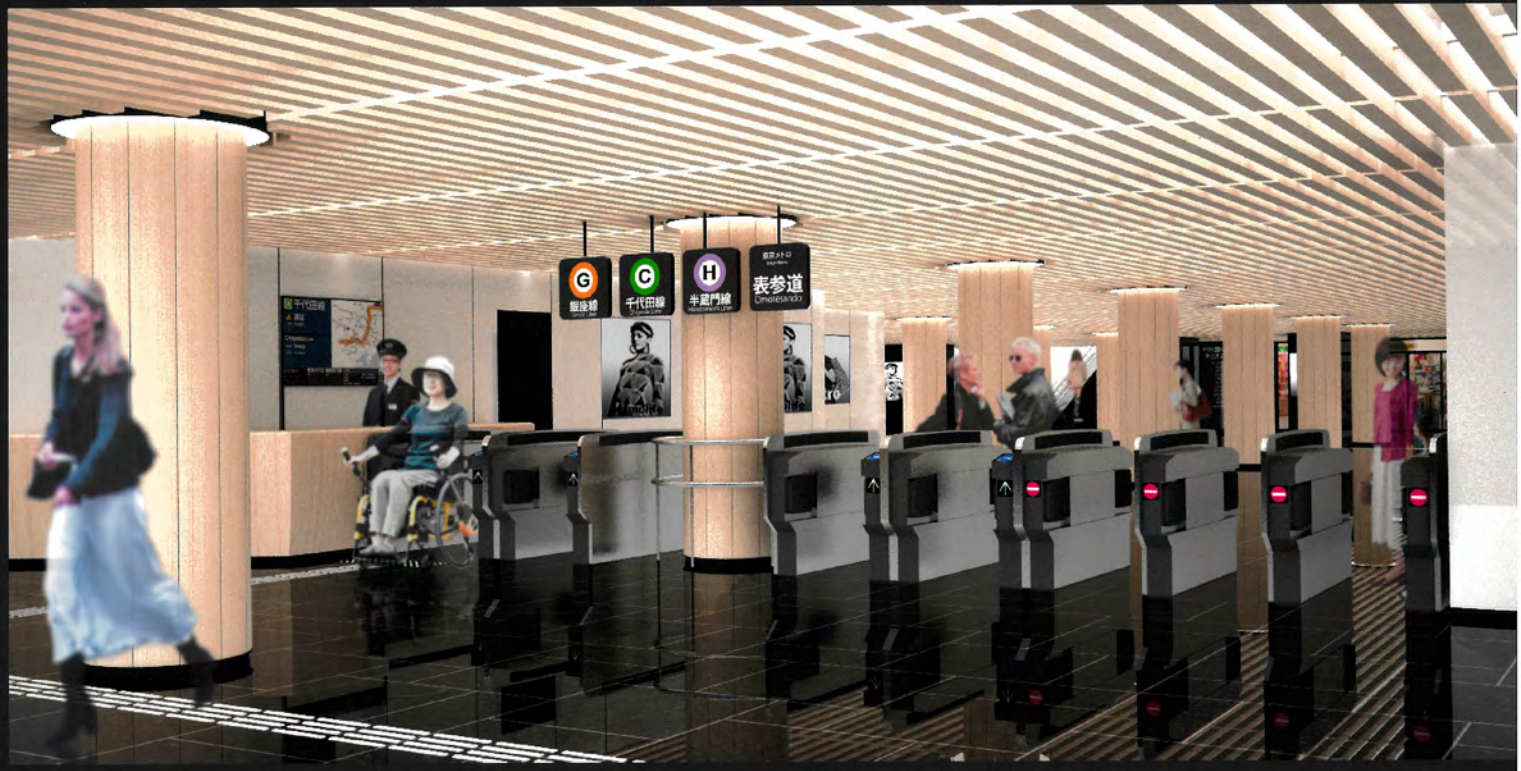
G02 表参道

Omote-Sanndo



ファッションに敏感な20代女性
表参道駅に休日を過ごすために訪れる

今日は休日なので表参道にやってきた。カフェやショッピングはもちろんのこと、この街を訪れる人のファッションを見るのも楽しみである。電車からホームに降り立つと、そこはまるでケヤキの木の柱と天井に囲まれたランウェイだ。床に埋め込まれたデジタルサイネージが、最新のトレンドを映し出しながら、ランウェイへと誘う。いつもより姿勢を良くして歩いている自分が愉快に思えてきた。見るのも楽しいけど、見られるのも心地良い。「やっぱり表参道に来て良かった!」



銀杏の木材で作られたロングシート



G03 外苑前

Gaienmae



定年退職した元ラグーマンの70代男性
外苑前駅にラグビー観戦で訪れる

ラグビー観戦のため久しぶりに外苑前駅にやってきた。ラグビー選手であった学生時代に訪れてから、かれこれ半世紀が過ぎた。交互に組まれたレンガ床と、土を塗りこめた壁で囲まれた構内は、ここが明治神宮外苑であることを自然と伝えてくれる。年老いた体を休めるため、イチョウの木のベンチに腰を下ろすと、リベットの打ち込まれた開業当時の鉄柱が目に入ってきた。「こいつも現役で頑張っているなあ」と、思わず手を触れてしまう。もうすぐキックオフ!しっかりと応援してやらなくてはと、競技場へと心が浮き立った。



七つ葉のクローバーのような上屋

G04 青山一丁目

Aoyama-Itchoume



会社に努める40代外国人男性
青山一丁目駅に通勤している

今日も良く働いた。仕事帰りの身には、寄りかかれるハイベンチがあるのがとても嬉しい。以前よりもベンチの数が圧倒的に増え、電車が来るまでのほんの少しの間、携帯を見るにはちょうど良い。湾曲した桜の木のパネルが、優しく光を反射しながら適度な明るさを保っている。以前は天井があり圧迫感があったが、それもなくなりやや広く感じられる。ふと足元に目をやると、床の石のパターンが気になった。これは「神宮外苑の入口にある石垣のパターンだな」と、検索したくなった。東京に赴任した時は何も知らなかったが、最近江戸東京の歴史にさらに興味を湧いてきた。



桜の木材で作られた寄りかかれるハイベンチをプラットフォーム全面に配置

